

江戸川区と府中市の友好に関する陳情

(文教委員会付託)

受理番号 第106号

受理年月日 令和8年6月10日

付託年月日 令和8年6月19日

陳情者
.

陳情原文 現在、府中刑務所作業指定陶芸工（窯業工）として、すばらしい担当工場長、またすばらしい技官さん、社会からボランティアで週1回指導に来所する陶芸家の先生の指導で、府中市ふるさと納税品として桜の箸置き等を作製しています。現在は茶飲みを作製し、私もやっと技官さんから「陶芸家になったようですね」と言っていただける作品を作れるようになりました。

受刑中の私が更生の道に向かうきっかけは、陶芸との出会いから集中する心と、老後の趣味としての道、60歳を過ぎて遅かったことなど、若い人たちに同じ思いをさせたくないという老婆心ながらの思いです。

そこで、私のふるさとである江戸川区と府中市が、東西地区の友好都市、姉妹都市として、歴史・文化・風土の交流を深めることを求めます。

府中刑務所の作業製品をふるさと納税の返礼品等に活用し、江戸川区と府中市が東西地区として友好であれば良いかと思い、陳情します。